

ネットワーク待ち時間の影響を減らす設定フェッチ可聴周波機能

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[症状](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) サーバと VoiceXML (VXML) ゲートウェイの間にあるとき 200 ms ラウンドトリップより大いに小さい期待されるネットワーク待ち時間の影響を減らすためにフェッチ可聴周波機能を設定する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP Server
- VXML ゲートウェイ
- Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM) 、 Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 配備

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP Server
- VXML ゲートウェイ
- UCCE

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

レイテンシー価値的研究法はまたは 200 ms を、CVP 超過し、Cisco Unified Interactive Voice Response (IVR) パフォーマンスは大きく影響します。

症状

- コールがドロップされる
- VXML アプリケーション オーディオはされません
- Microapp はうまく、VXML アプリケーション働きます (たとえば: 5 秒以上の helloworld アプリケーション) エクスペリエンス、オーディオ無しまたは遅らせられたオーディオ

ネットワーク待ち時間セクションの CVP 8 ソリューション ネットワーク参照設計 (SRND) 資料はだけでなく、遅らせられたオーディオの効果 VXML サーバと VXML ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間による VXML アプリケーションからのまた無音を減らすために可能性のある回避策を記述したものです。

フェッチ可聴周波機能を設定することは IVR サブシステム レベルと Expanded Call Context (ECC) 可変レベルで SRND 資料が詳細の設定も取り扱っていない警告も述べなかったと同時に実行されたことができます。

設定

IVR.FetchAudioDelay の IVR サブシステム設定および IVR.FetchAudioMinimum は追加されます。それらはフェッチが WAN リンクに遅れるときルート資料の WAN 遅延設定です。

これらの設定は CVP コンフィギュレーション ファイルの 1 つで遂行する必要があります:
C:\Cisco\CVP\confivr.properties

1. IVR.FetchAudioDelay=2

これは fetchaudio メディア演劇の前にフェッチ遅延のはじめに、待つ時間 (秒で) です。

この設定は fetchaudio の値が空ではない場合実施されます。

デフォルト値は 2 秒です。標準ネットワーク シナリオで聞かれるブリップ音を避けることを使用します (遅延なしで)。

ゼロへのこの値を設定することは最低 5 秒の間 fetchaudio メディアを、すぐに再生します。

値: 1 ~ 9

2. IVR.FetchAudioMinimum=5

これは要求されたリソースが一方で着いても fetchaudio によって規定されるオーディオをする時間の最小長です。

この設定は実施されます IF 値 offetchaudio によって空ではない。

デフォルト: 5 秒

値: 1 ~ 9

3. IVR.fetchaudio=flash: holdmusic.wav

これは fetchaudio の場所を規定 する変数です。 **holdmusic.wav** は VXMLgateway フラッシュする
でロードする**必要があります**。

値フラッシュするのまわりに引用符を置かないで下さい: IVR サブシステムがなので holdmusic.wav
は、たとえば引用の別の層を追加しました; **flash:** 最終的なストリングの holdmusic.wav (不具合
CSCub05699 を参照して下さい)

IVR.FetchAudio=flash: holdmusic.wav

ivr.properties ファイルを保存し、OAMP コンソールのデバイス コントローラからの callserver を
再起動して下さい。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。